

## NPO法人友愛アカデミー

事業名	第2回日・韓学生フォーラム「高齢化社会をどう考えるのか」			
実施期間	2013年1月26日(土曜日)			
場 所	広島国際会議場			
参加者	外国人留学生	地域住民・企業等	その他	合計
	5 名	5 名	16 名	25 名

### ＜実施内容＞

日本と韓国で、また世界中で、大きな問題になっている「高齢化社会」について考え、意見を発表して話し合いました。学生のディスカッションの前に、専門家の先生方のお話を聞きました。



集合写真です(講演の先生など先に帰った方もいますので、人数が少ないです)。



高齢者複合施設施設課長 補佐河野隆典さんの講演です。



名古屋市立大学教授 星野優太先生の講演です。



比治山大学非常勤講師 安錦珠先生の発表です。



韓国に留学中の日本人学生の発表です。



友愛アカデミーで語学研修中の韓国人学生の発表です。



質疑応答中です。



一生懸命考える学生たちの姿です。

### ＜参加者からのコメント＞

張 肴珠(ジャン・ヒョジュ)さん(韓国)

私は、現在の高齢化社会で一番重要なものは高齢者に持続的な関心を持つことだと思いました。高齢化社会の問題は、今現在の高齢者だけの問題ではありません。私たちの親も問題であり、何十年か後には私たちの問題になります。そういうわけで、私は高齢化社会に持続的な関心を持つことが何よりも大事だと思います。

呉 明錫(オ・ミョンソク)さん(韓国)

社会が高齢化したのは当たり前で、今から対策を始めてもすぐ解決できるものではありません。短く見ても20年、長く見たら50年後の未来のために解決方法を考えます。今の韓国の社会は65歳以上の高齢者が多くて、逆に子どもの数が少ない状況ですから、今の子どもたちが大人になるときは今より高齢者の問題がもっとひどくなると思う。未来のことを考えると、私はいま韓国で実施されている出産政策を変更しなければならないと思います。「子どもは未来の財産」という諺のように目の前のことだけでなく、もっと遠いところまで見据えていかなければなりません。後の世代には高齢化社会の対策より、子どものためのいい制度が作られたら韓国の未来が明るくなるのではないかと個人的に考えました。